



地元佐川町の広報誌〔広報 さがわ9月号〕
P26「まちの話題」で出前授業が紹介されています。

手紙を書こう！

7月11日、黒岩小学校5年生を対象に、日本郵便株式会社の出前授業「手紙の書き方教室」が行われました。

子どもたちが一生懸命書いた宛先は、6月に防災キャンプでお世話になった皆さん。書き方を習いながら、心を込めて書きました。仕上げに、1人1人の名前が掘られた手作りスタンプのプレゼントもありました。

完成した手紙を持って、黒岩郵便局へ。郵便局で頼めば、消印を「風景印」にしてもらえることも教わりました。黒岩の風景印は、太刀踊り。

子どもたちの感謝の思い、きっと伝わったことでしょう。



手紙書く楽しさ知った

★佐川町・黒岩小★

7月11日。日本郵便の「手紙の書き方出前授業」がありました。この授業の目的は、「はがきを使って手紙を書くことが少なくなった今、子どもたちに手紙を書く楽しさを知ってもらう」ということです。高知県では、黒岩小学校が初めてだそうです。

授業では、はがきの表書きの方法や裏書きには三つ（書き出し・本文・結び）の順番があることを教えてもらいました。消印には、風景印やいろいろな形のはんこがあることも知りました。黒岩郵便局にも風景印があり、書いたはがきを出しにいき、それを押してもらいました。この授業がなかったら知らなかったことがたくさんありました。今回、手紙を書く楽しさが分かったので、これからたくさん書いて送ってみようかなと思いました。（5年、武石希記者）

出前授業を受けた児童が、地元紙へ投稿した記事です。

黒岩小
5年通信

チャレンジ!

黒岩小学校
7月16日
No. 33

お礼の気持ちを言葉にこめて・・・

先週11日(木)、日本郵便の「手紙の書き方体験授業」が行われました。

この授業の目的は、『子ども達の伝える力やコミュニケーション能力を育てために、手紙を書くこと。そして、何より子ども達に便りを「書く」「つくる」「送る」「もらう」楽しさを感じてもらうこと』です。

当日は、東京本社、高知本店、愛媛、香川、そして、伊野郵便局、佐川郵便局、黒岩郵便局の方々が来て下さいました。そして、高知本店の本部長：宮城逸司さんが授業をして下さいました。



今回は、防災キャンプのお礼を書くという目的をもって取り組みました。葉書という限られたスペースの中に、感謝の気持ちや学んだこと、また、時節の言葉など上手に配分しながら書くことができました。

子ども達は、今回の学習の中で、表書き・裏書き(本文)のルールがあることも学びました。それから、書いたものを黒岩郵便局の持ちていき、風景印を押してもらいました。(詳しくは子どもに聞いてみて下さい)



これからも、この学習を活か色々な授業を組み立てていきたいと思います。



全員完成!



※黒岩郵便局から、ポスト型のかわいいポストカードを頂きました。

返信 No. 33 () 見ました

保護者向けに配布した学校通信



『黒岩小つうしん』の配布
 黒岩小学校は、『地域の学校』です。黒岩の全家庭に配布
 させていただく『黒岩小つうしん』が、学校と地域を結ぶ架
 け橋となることを願っています。

教育目標
 心・体・知の調和の取れた、心豊かでたくましく児童の育成

学年別児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	4	4	2	3	4	6	23
女子	7	1	4	4	6	2	24
合計	11	5	6	7	10	8	47

研究テーマ
 言語活動を充実し、意欲的に学ぶ児童を育てる
 ～自己表現できる子どもを育てる授業づくり～

日本の国際教育をリードされている筑波大学附属
 小学校の白石鶴孝先生にアドバイザーをお願いし、
 国際科の授業研究に取り組んでいます。また、日常
 生活においても、「言葉で伝える力」を育てています。
 平成24年度「高知県国際教育研究会」会場校
 平成25年度「佐川町指定研究発表会」会場校

日本郵便「手紙の書き方教室」【7月11日】

現代では、はがきや手紙以外に、電話やFAX、電子メー
 ルなど、様々な通信手段があります。なかでも、普段なかな
 か直接伝えられない感謝の想いや気持ちを込めて書いた手
 紙は格別なもの。

日本郵便が**手紙文化振興**を目的として企画した「手紙の書
 き方教室」が、本校5年生を対象に開催されました。
 当日は、高知県営業統括本部の宮城本部長が、はがきを書
 く際のポイントを丁寧に指導くださいました。

授業のポイント
 ・受け取った人に喜んでもらえるもの
 ・お便りが届くまで（郵便の流れ）
 ・はがきの表と裏の書き方

子ども達書いたはがきには、日本郵便本社の山下さんが
 消しゴムに細工して作ってくださった「名前印」を押しまし
 た。この思いがけないプレゼントに、子ども達は大喜び。
 黒岩郵便局で風景印(四ツ白太刀踊り)を押印してもらい、
 投函しました。善積局長のお話からも、手紙のすばらしさが
 伝わってきました。

この「手紙の書き方教室」の様子は、「手紙を楽しむため
 の会員情報誌 Letter Park 9月号」(日本郵便発行)に掲載
 される予定です。



～防災キャンプ（6/28～30）の経験を 佐川町総合防災訓練（9/1）に生かそう～

防災キャンプ開催に際し、地域の皆様には大変お世話にな
 りました。
 3日間の活動は、通学路の危険箇所の確認・消防団との活
 動・非常食作り・遊樂所づくり・起震車体験・応急処置体験・
 講演会など様々な、体験や学習を通して、子ども達は、「非常
 時に自分の命を守るために、どのように適切に判断し、行動
 すればよいのか・・・」を学びました。



【地域の方と通学路のチェック】 【消防団や地域の方とバケツリレー】

9月1日(日)には、佐川町総合防災訓練が、本校で開催
 されます。夏休みの最終日ではありますが、多くの子ども達
 が参加し、学習を深める予定です。

四ツ白太刀踊り

四ツ白太刀踊りは、320年以上の歴史があり、高知県無
 形民俗文化財に指定されています。黒岩小・中学校では、小
 学校4年以上が太刀踊り保存会の皆さんにご指導いただき、
 小・中高同運動会で「しのぎ」を披露しています。

また、平成21年度から、運動会以外でも太刀踊りの伝承
 に取り組み、練習と発表を重ねています。今年度のメンバ
 ーは、小学生11名・中学生3名・高校生1名（計15名）
 です。月に約2回のペースで、日曜日の朝、保存会の皆さん
 にご指導いただいています。下級生にとっては、難しいところ
 も多いのですが、みんな楽しく頑張っています。

11月17日(日)には、高知県代表として、「中国・四
 国ブロック民俗芸能大会」に参加し、「しのぎ」と「忠臣蔵」
 を発表することが決まりました。お楽しみに。

9月 7日 城山まつり 【城山グラウンド】
 11月 3日 仁井田神社 秋の大祭 【仁井田神社】
 11月 17日 第55回中国・四国ブロック民俗芸能大会
 【香川県あなぶきホール】

夏休みの行事予定

8月26日(月) 北一支部水泳記録会(南門プール)
 9月 1日(日) 佐川町総合防災訓練(会場)

2学期の行事予定

9月 2日(月) 始業式・給食開始
 9月 3日(火) 集団登校・作品展(～6日)
 プール納め
 9月 7日(土) 城山祭り(歌・太刀踊り発表)
 9月22日(日) 小中高同運動会【予備日23日】
 10月 9日(水) 佐川町指定研究発表会
 10月22日(火) 陸上記録会【予備日23日】
 10月25日(金) 参観日【午後日程】
 10月31日(木) 秋の遠足(バス利用)
 11月 7日(木) 芸術祭(校庭にて)
 11月 9日(土) 学習発表会・PTAレク
 12月13日(金) 校内持久走大会
 12月25日(水) 終業式

日本郵便「手紙の書き方教室」【7月11日】

現代では、はがきや手紙以外に、電話やFAX、電子メー
 ルなど、様々な通信手段があります。なかでも、普段なかな
 か直接伝えられない感謝の想いや気持ちを込めて書いた手
 紙は格別なもの。

日本郵便が**手紙文化振興**を目的として企画した「手紙の書
 き方教室」が、本校5年生を対象に開催されました。

当日は、高知県営業統括本部の宮城本部長が、はがきを書
 く際のポイントを丁寧に指導くださいました。

授業のポイント
 ・受け取った人に喜んでもらえるもの
 ・お便りが届くまで（郵便の流れ）
 ・はがきの表と裏の書き方

平成25年度は、日
 本で約10校開催す
 る予定です。

子ども達が書いたはがきには、日本郵便本社の山下さんが
 消しゴムに細工して作ってくださった「名前印」を押しまし
 た。この思いがけないプレゼントに、子ども達は大喜び。

黒岩郵便局で風景印(四ツ白太刀踊り)を押印してもらい、
 投函しました。善積局長のお話からも、手紙のすばらしさが
 伝わってきました。

この「手紙の書き方教室」の様子は、「手紙を楽しむため
 の会員情報誌 Letter Park 9月号」(日本郵便発行)に掲載
 される予定です。

